

令和7年度第3回 東松山市総合計画審議会 会議録

開 催 日 時	令和7年8月20日（水）			開会	10時00分	
				閉会	12時20分	
開 催 場 所	東松山市役所 総合会館3階 303会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）基本構想（案）について （2）重点テーマについて （3）施策体系について （4）基本計画要旨（案）について 4 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		2人	
審 議 会 委 員	委 員	飯島 徹	出	委 員	長島 洋介	出
	委 員	今村 美代子	欠	委 員	中田 幸昌	出
	委 員	押尾 晴樹	出	委 員	細田 咲江	欠
	委 員	小野寺 亘	出	委 員	杉山 武志	欠
	委 員	木村 翔一	出	委 員	佐藤 幸俊	欠
	委 員	小峰 良介	出	委 員	関根 美沙	出
	委 員	須田 知樹	出	委 員	松木 秀一	出
	委 員	関口 喜希	出			
事 務 局	政策財政部長 桶谷 易司			政策財政部次長 関根 隆		
	政策推進課長 今井 秀典			政策推進課活性化戦略室室長 原田 政洋		
	政策推進課主査 江原 友博			政策推進課活性化戦略室主査 元田 貴志		
	政策推進課主任 長嶋 宥佑			政策推進課主事 嶋岡 佑香		

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 あいさつ	(小野寺会長あいさつ)
3 議題 (1) 基本構想 (案)について	《(1) 基本構想(案)について事務局から説明》 【資料1】第六次東松山市総合計画(案) 【質疑応答・意見】
須田委員	東松山市を取り巻く社会情勢の(3)デジタル社会の文章に“求められている”との表現があるので“目指します”などの表現とすることで、自発的と捉えられる表記にしてみてもはどうでしょうか。
事務局	本市が自ら計画を進めていく姿勢が現れるような表現となるよう修正します。
小峰副会長	第五次計画では「まちづくりの理念」の次に「将来像」が掲げられていますが、第六次計画では初めに「将来像」が掲げられ、次に「まちづくりの理念」が記載されていますが、何か理由があるのでしょうか。やはり最初にまちづくりの理念が記載され、将来像があるという形がよいと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	計画を見ていただく方に最初にまちの「将来像」を見ていただきたいという思いがあり、記載する順序を変更しました。過去の総合計画では「まちづくりの理念」を記載した後に「将来像」を掲げていましたので、記載する順序についてはご意見も踏まえて再度調整いたします。
木村委員	社会情勢(2)防災・減災対策の推進(大規模災害への備え)の文章内もしくは該当する施策の中で、昨今の災害級の暑さへの対策について記述してみてもどうでしょうか。
事務局	社会情勢内に記載するかどうかは検討しますが、災害級と言われる暑さに関しては配慮すべき視点になると思いますので、記述できるよう調整いたします。
中田委員	(4) グローバリズム・世界情勢の変化については他のテーマと

	比較すると抽象的な記述であると感じました。例えば、外国人に対してはごみ捨ての問題が顕著ですが、現状や課題をより具体的に記載してはいかがでしょうか。
事務局	検討いたします。
小峰委員	「VUCA」については、注釈にそれぞれ記載している「VUCA」が持つ単語の意味についても文章中で表現してみてもはいかがでしょうか。
事務局	検討いたします。
小野寺会長	社会情勢の各項目を個別に修正していくと齟齬が生じる可能性があります、全体のバランスを意識しながら修正する必要がありますので、十分留意してください。
(2) 重点テーマについて	《(2) 重点テーマについて事務局から説明》 【資料2】重点テーマ
飯島委員	【質疑応答・意見】 中小企業などが、耕作放棄地となった隣接する土地を事業用に活用できるようにするなどの柔軟な対応はできないもののでしょうか。
事務局	現在の制度では、農地としての機能を守ることが優先されていますので、別用途で使用することは難しいです。
中田委員	働く場所が多く、自然環境も整い、交通の便も優れている当市の「立地」について子育て世代向けにPRを強化してみてもはいかがでしょうか。
事務局	中高生との座談会でシティプロモーションの強化が課題であるという意見をいただいていたため、施策に「シティプロモーションの強化」を追加しました。観光のPRだけではなく、働きやすさや交通利便性の高さなども網羅的に捉えて、シティプロモーションの強化に取り組んでいきます。
小峰副会長	「すこやか・生きがい」という文言はありますが、当市には憩い

事務局	の場が少ないように感じますので、そのような場が必要であると感じました。 また、高齢者にとって図書館も憩いの場所になっていますので、図書館と連携して新しい地域コミュニティの在り方を考えてみてはどうでしょうか。 憩いの場の提供については、行政だけではなく、民間活力の活用も必要であると考えます。静かな場所という既成概念のある図書館でも集まって談笑ができる場所のある図書館という考えがあってもよいと思いますので、当市でも柔軟な視点や工夫をもって地域コミュニティの在り方を考えていきます。たとえば、他の自治体では、道路スペースを活用してロードサイドの飲食店が飲食スペースを展開しているような事例もあり、道路占用許可などの規制をうまく緩和するなど、柔軟なアイデアを実行に移していくことがまちの「にぎわい」に繋がるのではないかと考えます。
関根委員	多くの市民は、空き家を購入するだけで居住できると思っているのですが、購入前後の手続きなどが煩雑であったり、市街化調整区域のため、購入したけれど居住できなかったりするケースがあるようです。市として空き家対策を推進する上で、そういった情報も明確に発信していく必要があるのではないのでしょうか。
事務局	空き家については、市街化調整区域での建築条件などによって、居住できない場合がありますので、ご指摘の意見を反映できないか所管課にも情報提供いたします。
須田委員	重点テーマ同士もそれぞれつながりがあると思うのですが、示された資料ではその見せ方が弱いように感じます。3つの重点テーマのつながりをもう少し明確に記載できるとよいのではないのでしょうか。
事務局	見せ方を工夫したいと思います。
関口委員	まちづくりの柱6「市民活躍」での重点テーマの関わりについては、「シビックプライドの醸成」に対応しているという認識でよいのでしょうか。
事務局	直接的に関係するのは「シビックプライドの醸成」についてです

	が、市民活躍を推進していくために、3つの重点テーマが横断的に関わっていくという捉え方をしています。
関口委員	市民活躍の中で「協力と信頼」とありますが、これは「行政と市民」を指しているのでしょうか。それとも「市民同士」の関係を示しているのでしょうか。
事務局	「市民」と「市民」が協力と信頼を築くことで、それぞれの活躍に繋がるという考えを示しています。
関口委員	外国人同士のコミュニティは強いように感じます。一方で、子育て世帯同士のコミュニティは弱いように感じます。地域で新たなコミュニティを作っていくことが様々な課題の解決に繋がることもあ ると考えます。
事務局	新たな地域コミュニティの形成などは難しい部分もあると考えています。若い世代の生活スタイルの違いや自治会活動が面倒であると感じる人もいます。自治会活動の負担を軽減していくというような考え方もありますが、行政も関わりを持ちながら、まずは相互に思いや考えを共有していくことが大事であると考えます。また、地域の方々と外国人市民についても、お互いを尊重し合う関係性を構築していく必要があると考えます。
松木委員	重点テーマにおいて、DXの推進についてはどのような位置づけでしょうか。すべてのものに関わるという考え方でしょうか。
事務局	効果があると思うものについては積極的にDXを取り入れていこうとする考え方です。
(3) 施策体系について	《(3) 施策体系について事務局から説明》 【資料3】 施策体系表 施策体系表について第五次計画と第六次計画の主な変更箇所を事務局から説明。
長島委員	【質疑応答・意見】 まちづくりの柱6「市民活躍」の分野は、重点テーマの「すこやか・生きがい」に主に関わると思いますが、シニアの活躍について

	はイメージが付きやすいのですが、ジュニアの活躍についてはどのような分野が関わってくるのでしょうか。
事務局	重点テーマは、子育て支援や学校教育の分野なども含め分野横断的に関わってくるという認識です。ジュニアの部分に関して、市民活躍の分野でいえば、スポーツや文化・芸術などが広く関わりを持つと認識しています。
木村委員	第六次計画では、第五次計画で示されていた各分野の施策が統合されていると思いますが、統合された事業などについては消えてしまうのではなく、実施計画に含まれていくという認識でよいでしょうか。
事務局	総合計画は施策単位で俯瞰的に取組の方向性を記載していきます。細かな事務事業については、実施計画の中で示していく予定です。
松木委員	東松山市出身の著名人に講演などをしてもらうことで、子どもたちは刺激を受けるのではないのでしょうか。
事務局	市で取り組んでいる代表的な取組としては、ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章博士による中学生を対象にした講演があります。梶田先生の功績に関連して、特に理科分野で力を入れています。
松木委員	スポーツ分野についてはどうでしょうか。
事務局	スポーツ分野の代表的な例としては、箱根駅伝に出場している大東文化大学の陸上部の皆さんに市内の駅伝大会に出場してもらいました。近隣大学との連携も含め、引き続き事業展開を図っていきたいと考えています。
松木委員	東松山市内に限定せずに近隣自治体からも著名人、有名人を呼んでみてはいかがでしょうか。
事務局	本市には松山高校、松山女子高校、東京農業大学第三高等学校、大東文化大学があり、近隣も含めれば立正大学、東京電機大学、武蔵丘短期大学、山村学園短期大学もあり、高校生や大学生と関わりを持ちやすい貴重な環境がありますので、高校や大学とも連携しな

押尾委員	がらまちのにぎわいの創出につなげていきたいと思います。 まちづくりの柱3「環境」についてですが、「環境に対する市民意識の向上」と「快適な生活環境の確保」という2つの施策が「環境に対する市民意識の向上」という1つの施策に統合され、「快適な生活環境」についての記載がなくなったように感じますが、いかがでしょうか。
事務局	「快適な生活環境」の考え方についても、「環境に対する市民意識の向上」の中で記述していく予定です。
(4) 基本計画要旨(案)について	《(4) 基本計画要旨(案)について事務局から説明》 【資料4】 基本計画要旨(案) 基本計画要旨(案)については、【資料3】施策体系表の内容をすべて反映済み。第五次計画からの変更点などについて事務局から説明。
長島委員	【質疑応答・意見】 基本施策 2-1 健康づくりの推進 施策①「健康増進と疾病予防の推進」の指標「がん検診（大腸がん）受診率の増加」では、施策の方向性に周知啓発を行っていくとありますが、現状の実施方法を見直し、利便性などを高めることが受診率の増加に繋がると考えます。 基本施策 2-5 高齢者福祉の充実 施策①「介護予防の推進と社会参加の促進」の指標では「ハッピー体操参加者数（増加）」を掲げていますが、他のフレイル予防の実施や、ハッピー体操に参加したくない方も少なからずいることを踏まえると、ハッピー体操に限定するのではなく、「介護予防事業者の参加率を高めること」を指標としてみてはいかがでしょうか。 基本施策 6-3 生涯スポーツの推進 施策②「スポーツを楽しむ環境づくりの推進」の指標では「18歳以上の市民の割合」としてありますが、ジュニアの活躍という視点を踏まえると、18歳以下の市民の割合も含められる指標が望ましいと考えます。
事務局	大腸がん検診の受診方法の見直しについては担当課とも情報共有し、工夫できるよう検討していきます。介護予防の指標については、ご指摘のとおり、ハッピー体操に限らず、介護予防事業への参加者

	数を包括的に示すことができる指標となるよう検討します。スポーツの指標に関しては、18 歳以下を集計できるかという点も含めて担当課と検討します。
関口委員	基本施策 1-1 子育て環境の整備 それぞれの施策の「現状・課題」の記載について、施策によって記述内容に差があるように感じました。課題については明確に課題であると記載してみてもいいのでしょうか。 基本施策 5-4 観光の振興・シティプロモーションの強化 施策②「シティプロモーションの強化」について、「ふるさと納税寄附受入額」を指標とした理由を教えてください。
事務局	課題が明確なものとそうでないものがありますが、ある程度の一貫性を持って記載できるよう留意します。 ふるさと納税をシティプロモーションの一環と捉えているため、「ふるさと納税寄附受入額」を指標としました。
松木委員	ふるさと納税の目的の一つには、ふるさと納税返礼品事業者の PR があると思います。 基本施策 5-1 農業の振興の施策②「農地の保全と活用」について、担い手不足を解消するために農地の大規模化を推進している自治体もあるので、参考にしてもいいのでしょうか。 観光の振興について、観光地などでは駅などの目立つ場所に名産品が展示されていたりするので、参考にしてもいいのでしょうか。
事務局	ふるさと納税は、地域を PR するためのツールと考えています。今は通販のようになっていますが、ふるさと納税制度の本質的な趣旨を踏まえて寄附の増加を図っていききたいと思います。 農地の大規模化に関しては、市の農業公社や埼玉県とも連携し、集約化を進め、営農が可能な農家に貸し出す取組を進めています。 観光に関して、東松山駅には観光協会の窓口もあるため、さらに PR できる方法を担当課とも考えていきます。
木村委員	農地の大規模化は水田分野では取組が進んでいますが、畑作では進んでいません。大規模化することが難しい面もありますが、畑作の分野でも大規模化を進めてもらえるとよいと思います。 基本施策 4-1 防災・減災対策の推進の施策①「地域防災力の強化」では、災害時の備蓄品の開放や帰宅困難者の受け入れなど、企業の

	BCP に関して取り込めないでしょうか。また、基本施策 5-1 農業の振興の施策①では、「新規就農者数」が指標になっていますが、新規就農者から認定就農者へステップアップした人数や割合ではいかがでしょうか。
事務局	畑作分野の大規模化については、個別の事業となるため担当課と検討いたします。災害時の企業の活動について、本市は複数の民間企業と応援協定を締結しているため、その点について記述できるよう検討します。認定就農者の指標については、担当課で把握できるか確認します。
須田委員	基本施策 1-3 学校教育の充実 施策①「確かな学力の育成」の指標は、分かりやすく「平均点が上がったか否か」という視点でよいと思います。
事務局	担当課と検討いたします。
須田委員	基本施策 3-2 自然環境の保全 施策③「特定外来生物への対応強化」についての指標は、アライグマの捕獲数を増やしていくという視点にすればよいと思います。 基本施策 5-1 農業の振興の施策①「多様な担い手の育成・確保」の指標「新規就農者数」のカウント方法については、世帯数でカウントするのでしょうか、もしくは、夫婦 2 人での新規就農の場合にはどのようにカウントするのでしょうか。また、親の代替わりで初めて就農した子どもはどのようにカウントするのでしょうか。
事務局	アライグマの捕獲数を増やしていく指標については担当課と共有します。新規就農数のカウント方法については、次回の審議会までに担当課へ確認します。
須田委員	基本施策 5-1 農業の振興の施策②「農地の保全と活用」の指標としている「農地利用集積面積」とはどのような意味でしょうか。
事務局	これに関しても次回審議会までに担当課へ確認いたします。
須田委員	カロリーベースの食料自給率で考えると、野菜類よりも米などの穀物の方が、カロリーが高いため、市として畑作よりも水田耕作を優先するという考えが強くなると思うので、考え方を整理しておい

事務局	た方がよいと思います。 参考にしたいと思います。
須田委員	基本施策 6-4 文化・芸術の振興 施策①「文化・芸術活動の促進」についての指標は、「文化・芸術公式 SNS の閲覧数」となっていますが、閲覧している全ての人が興味や関心を持っているとは限らないため、たとえば市のイベントへの来場者数としてみてはどうでしょうか。
中田委員	基本施策 5-4 観光の振興・シティプロモーションの強化 施策①「観光資源の活用と周遊性の向上」について、農林公園のリニューアル時には市が PR に力を入れたことで現在の人気を維持できていると思っています。引き続き SNS などを利活用して市の PR をすることが大事であると感じています。 環境の施策で挙げられていた「アライグマの捕獲数」を指標とすることについて不都合は生じないのでしょうか。若い人の中には、アライグマを捕獲することを「かわいそう」と言う人がいるのも現実としてあります。
須田委員	専門的な立場から意見しますが、現在ではアライグマの捕獲について自治体に批判の電話が入ることはほとんどありません。全国的にも害獣としての意識が高まっているので、捕獲数を指標としても不都合は生じないと思います。むしろ、数字を示したほうが問題の再認識が出来るはずだと思います。
関口委員	課題と指標が合致していない箇所が見受けられますが、いかがでしょうか。
事務局	総合計画では 1 つの施策に対して 1 つの指標を設定することとしているため、指標と課題がどうしても合致しない部分が生じます。来年度に向けて作成する実施計画では、事業ごとに指標を設定しますので、総合計画で合致しない部分については実施計画で補う予定です。
小峰副会長	1 つの施策に対して 1 つの指標を設定するという考え方では網羅できない箇所もあると思いますので、今の事務局からの説明の点を総合計画内に明記するとわかりやすいと思います。 基本施策 4-1 防災・減災対策の推進

事務局 小野寺会長 関根委員 事務局 4 閉会	施策①「地域防災力の強化」の指標は「災害への備えを行っていない市民（減少）」となっており、後ろ向きな感じがするため、「備えを行っている市民（増加）」としてはどうでしょうか。 基本施策 4-2 計画的なまちづくりの推進 施策③「安全で質の高い公園・緑地の維持管理」の指標についても「生命に関わる危険等をもたらすハザードのある遊具数」ではなく、「撤去数」などにしてはどうでしょうか。 1 つの施策に対して代表指標として 1 つの指標を設定している旨を明記できるようにします。 また、各指標については、わかりやすく理解できるような表現となるよう修正します。 指標については、担当課任せにするのではなく、施策と合致する指標となるよう、再度事務局で調整をしてください。 まちづくりの柱 1 「こどもの分野」の説明文中に「安心して子どもを産み育てられる」とありますが、「産む」という表現についてが、女性にだけ負担を強いているように感じますので、修正が必要であると思います。 表現を修正します。 (桶谷政策財政部長より御礼のあいさつ) (事務局閉会宣言)
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和 7 年 9 月 1 8 日 署名委員 <u>押尾 晴樹</u> 署名委員 <u>木村 翔一</u>	